

書簡 大杉栄宛

(一九一六年六月一日)

伊藤野枝

青空文庫

宛先 東京市麴町区三番町六四 第一福四萬館

発信地 千葉県夷隅郡御宿 上野屋旅館

今日は朝からちつとも仕事が出来ないので困つてゐましたの。
昨日お手紙が来たので、今日はもう頂けないものと思つてあきら
めて待たないでゐましたのに、来ましたので本当に嬉しうござい
ました。本当にいろいろ御心配をかけて済みません。

女の世界もとうたうやられましたか。すると、もう私達は何も
云ふ事が出来なくなつた訳でせうか。しかし、他の人に云へる事

が何故私達が云つてはいけないのでせうね。

着物の心配までして下さつてありがとう。もうお天気の今日には暑くてセルも着られませんかから、直ぐと単衣ひとえでゐられます。従妹から湯上りに着るのを二反送つてくれました。それを仕立てて着てゐればよろしうございますから。それと、羽織を、私は東京にあると思つてゐましたら、田舎に置いてあるさうですから、それを送つて貰ひます。いい単衣が一枚あればそれでいいのです。九州へ行けば、着るもの位はどうかかりますから。単衣も出せばあるのですから、急がないでもいいのです。

子供は預つてくれさうです。上野屋の親類の人で、鉄道院へ出てゐた人の妻君で、子供二人をかかへてゐる、まだ若い人です。

その人は預りたがってゐます。ただ親類の同意がありさへすればいいのです。主人はなくなつたのださうです。

お清さん（遠藤清子）が保子さんの処に行つたのは面白いですね。けれど、保子さんがあなたによくなつたのはうれしい。それだけでも充分です。私達にまで好意を持つて頂くやうには決して願ひません。ただ、あなたにさへいやみや皮肉をおつしやりさへしなければ。

静かでいい気持かいなんて、そんな事を云つて本当にひどいね。ええ、いい気持ですよ。だつて、さびしいと思つたつてあなたが来て下さる訳でもないし、我慢するより仕方がないんですもの。思ひ出させるやうになんて、私があなを思はないでゐる時

があると、あなたは思つてゐらつしやるの。本当にそれだからあなたは、人をさん／＼さびしい目に合はせて置いて、静かでない気持かいなんて笑つてゐられるのですよ。

今日は本当にいいお天気ですよ。東京もさうでせうか。あなたがゐらつしやらなくなつてから仕事が出来たのは、あなたの事を思ひ出すたびに、苦しまぎれに仕事にかぢりついたからです。邪魔だつたのぢやありませんよ。いくら書いても限りきはありません。止します。今夜はまた少し長く起きてゐて仕事をします。あなたも今夜は懸命にしてゐらつしやるのでせうね。

麦がもうすつかり刈られて仕舞ひました。毎晩お星さまが綺麗ですね。私は相変らず、あすこに出ては歌つてゐます。

「『大杉栄全集』第四卷、大杉栄全集刊行会、一九二六年九月」

青空文庫情報

底本：「定本 伊藤野枝全集 第二卷 評論・随筆・書簡」——
『青鞜』の時代」學藝書林

2000（平成12）年5月31日初版発行

底本の親本：「大杉栄全集 第四卷」大杉栄全集刊行会

1926（大正15）年9月8日

入力：酒井裕二

校正：雪森

2016年1月4日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

書簡 大杉栄宛

(一九一六年六月一日)

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

著者 伊藤野枝

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>